

令和元年度第5回政策会議概要

- 1 開催日時：令和元年7月18日（木）9：10～9：20
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり
（●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問）

議題1 ワーク・ライフ・マネジメントの推進について

●佐藤行財政改革推進課長（資料1に基づき説明）

6月27日開催の中央労使協働委員会の内容を情報共有する。時間外勤務時間数や超長時間勤務者数など、いずれの項目もワーク・ライフ・マネジメントの取組を始めた平成26年度から改善傾向が続いている。一方で、昨年度は目標を達成できていない部局がこれまでより多いことや、二極化の解消に向けた課題も残っていることから、全庁目標の最終年度である今年度は、ワーク・ライフ・マネジメントの推進に注力していくことを確認した。

また、今年度から時間外勤務命令の上限が設定されたが、あくまで上限設定であり、長時間労働の是正を目的としたものであることを認識するとともに、事前命令の徹底等により、所属長がマネジメントすることの重要性を確認した。

各部局、各所属においては、このような議論を踏まえ、マネジメントに取り組んでいただくようお願いする。

☆大橋子ども・福祉部長

中央労使協働委員会の中で、「朝型勤務」ではなく「夜型勤務」についての議論はなかったか。

●佐藤行財政改革推進課長

特にそのような意見はなかった。

議題2 コンプライアンスの推進について

●竹尾コンプライアンス・労使協働推進監（資料2に基づき説明）

「挑戦する風土・学習する組織」を目指すため、知事と次長級以上の幹部職員との個別面談を実施した。今回は、知事と一般職員との対話の機会を設けるため、本庁各課の会議に知事が参加し、意見交換を行う。

例えば、コンプライアンスや風通しの良い職場づくりをテーマに、1所属あたり10分から15分程度意見交換を行う。7月下旬から12月までを目処に実施し、本庁全所属を対象とする。事前準備は行わず、知事が参加することも職員には会議当日に知らせることとするので、職員が日常の業務の中で感じていることなど、忌憚のない意見交換をお願いしたい。

☆大橋子ども・福祉部長

当日職員に知らせるとのことだが、都合で会議に欠席する場合、知事が参加するのであれば何とかして会議に出席したのと言う職員もいると思うが、どうか。

●喜多総務部副部長兼コンプライアンス総括監

基本的には当日知らせるということでお願いしたい。日程調整をする中で部局の担当者には伝えることになるので、職員に知らせるタイミングも含めて調整させてもらう。

☆鈴木知事

次長級以上の職員 72 名と対話をさせてもらった。短い時間ではあったが、人事のこと、組織運営のこと、人材育成のこと、コンプライアンスのこと、コミュニケーションのことなど、いろんな現状や問題点、解決のための方策を聞かせてもらい、大変貴重な機会だった。一対一で対話をしたからこそ言ってもらえた率直な意見もあった。

人づくりは大事なことであり、令和の時代に行財政がどうなっていくのかも見据え、行財政改革取組の改定とともに、三重県職員人づくり基本方針も改定したいと思う。改定プロセスを総務部と我々だけでなく、皆で考えて議論するプロセスにしたいので、各部局も協力して進めてほしい。

職員との対話については、年内に全所属をまわりたいと思う。これまでもランチミーティングや職場訪問など実施してきたが、準備された形で参加するより、普段の様子を知るほうがよいと思うので、このような形にさせてもらう。行財政改革取組も改定する時期なので、しっかり皆と議論していきたい。

以上